

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課（内線：7030）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
米国バーモント州 交流促進事業	11,385	2,915	8,470				11,385	
トータルコスト	19,453千円（前年度：5,401千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	事業の企画・立案、バーモント州側との連絡調整、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体の支援、出張時の随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>平成20年6月に国際親善に関する覚書を締結し、地方政府間でも文化や教育など様々な分野での交流を継続することを確認したところである。こうした背景の下、バーモント州での鳥取の文化・観光のPRや次世代の交流の担い手を育成するための青少年交流事業等を推進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業費 11,385千円</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>ア 環境をテーマとした青少年交流事業 バーモント州の民間環境交流団体 GATP (Green Across The Pacific) と連携して、県内の高校生等20名（生徒15名、引率5名）を2週間程度派遣し、ホームステイをしながら、現地の高校生と共にフィールドスタディを中心に環境学習や交流を展開する。</p> <p>イ ととりの民芸 PR 事業 バーモント州内で鳥取県と交流の可能性のある高校等において、県産の民芸を中心としたミニ展示を巡回して行うことにより、鳥取県の文化・観光の情報発信を行い、鳥取県への関心の醸成を図る。</p> <p>ウ 交流拡大に向けた鳥取県 PR 事業 GATP 代表者、バーモント州政府職員、同州内で鳥取県との交流に積極的な高校の教員等を招致し、鳥取県をよく知っていただくとともに、今後の交流拡大に向けた協議を行う。 ※ GATP：世界の国々との交流を通じて文化的理解と環境に対する認識を深めることを目的としている民間環境交流団体。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>(1) 環境をテーマとした青少年交流事業 平成21年9月に事前協議団を派遣した際に、プログラムの基本的な枠組みについて合意するとともに、GATP から本県と交流を希望する3つの高校を紹介していただき、今後の交流拡大につなげることができた。今年3月には、初めて高校生主体の青少年団を2週間程度派遣し更なる交流促進を図る。平成22年度は GATP 代表者をはじめ、本県と交流の可能性のある団体等の キーパーソンを招へいし、一層の交流拡大を図る。</p> <p>(2) ととりの民芸品 PR 事業の開催 世界的に注目を集める日本の民芸をテーマに、平成21年10月、バーモント州内の図書館において、県産民芸品を約1カ月間展示紹介するとともに、竹細工等のワークショップを開催し、鳥取県の文化・観光の情報発信を行った。平成22年度は鳥取県と交流の可能性のある同州の高校等に絞って事業を実施し、効率的なPRを行うとともに今後の交流への展開を図る。</p>								